

松坂よしのり

議会報告

令和6年秋号

令和6年第3回定例会において一般質問を行いましたので一部ご紹介いたします。

1 斎場周辺環境整備事業の方向性と実施状況について 大きく前進!

斎場周辺の環境整備は、私が顧問をしている地元と市で設置した協議会において、整備に関する協議を進めている。これまで整備が完了しているものもあるが、一方、当初の計画から大きく遅れている。周辺住民は整備が完了することを待ち望んでいる。新たな整備計画が検討されるなか、残った環境整備を早期に完了させる必要がある。周辺地域においては、大雨時に道路冠水等が常に発生していることから環境整備とあわせて対応をお願いします。


斎場の火葬件数は、1万件の大台を超え、現在10日以上火葬を待つこともある。従事される職員の負担も増加し、職員からは慢性的な人員不足の改善を求める声が寄

せられている。火葬に関する状況が厳しくなるなか、人生の最後を見送る業務に従事する人の人材確保や待遇向上は重要である。そのため安定した運営を行うことができる指定管理者を選定することが重要である。

質問 斎場周辺環境整備事業の方向性と実施状況は。千葉市斎場の労働環境の改善に向けた取り組みと次期指定管理者選定に向けての課題認識について伺う。

回答 斎場整備は親水公園整備、道路、下水、雨水対策など環境整備を早急に進めていく。また、斎場運営が安定するよう指定管理者を指導し、労働環境の改善を進めていく。

2 落井町7号線の道路整備について(中西町) 大きく前進!

落井町7号線は、茂呂町から中西町へ繋がる道路で、地域に密着した生活道路である一方、朝夕の通勤時には混雑する茂原街道を回避するため、抜け道として利用されている。中西町内会などの地元の方と意見交換を行ったところ、歩行者や車が安全に通行できるよう、側溝の蓋 

がけを強く求める声をいただいた。

質問 落井町7号線における今後の対応について伺う。

回答 交通量が多く、部分的にすれ違いが困難であり、側溝に蓋がけをすることにより、道路の有効幅員を広げる必要がある。整備に向け、現地測量や境界確定などを行っていく予定。

3 道路の草刈について 前進しました!

緑区は、道路の隣接地に森林、田、畑などが多いため、ほかの区に比べて、雑草の生える箇所が多いため、私のところにも数多くの草刈要望が寄せられている。令和5年2月に移管された旧千葉外房有料道路は、千葉県が管理していた頃より草刈の回数が減ったと、地元の方々から声があがった。



質問 旧千葉外房有料道路を含めた緑区における道路の草刈の実施状況、および今後の対応について伺う。

回答 道路の草刈は、年1回の実施を基本としている。車両や歩行者の通行の妨げになるような場合には、必要に応じ複数回実施する。今後は交差点周辺や中央分離帯などに、防草シートやコンクリートの設置を行い、増加している草刈要望に対応する。

2023年度決算議会が終了。概要と評価



2023年度決算一般会計では歳入から歳出を引いた実質収支は28億5100万円の黒字を確保した。歳入総額は4.4%減の5063億円。歳出総額はコロナ関連や新庁舎整備事業の減額で3.9%減の5025億円。増加傾向にある民生費(子育て支援、価格高騰対策)は4.8%の伸び。市財政の健全度合いを示す指標「実質公債費比率」は横ばいの10.7%だった。貯金にあたる財政調整基金残高は減り149億円となった。あらたに29億円を積み立てたものの、社会保障関連経費の増加で50億円を取り崩した。今後も人件費や扶助費などの義務的経費は増加が見込まれ、24年度予算では78億円の取り崩しを計画している。病院事業会計は職員の給与増

額等で4年ぶりの赤字になった。

神谷市長は決算結果について、(歳出圧力が強まるなか、効率的な予算執行に努め29億円の黒字を確保できた意義は大きい。また、物価高に伴い歳出が増え、税金の増加が追いつかなくなる事態も想定される。政令市移行の際に整備した公共施設の更新、大規模修繕が多く控えており厳しい財政運営をしなければならない時期にきている)と評価した。

評価 少子高齢化の中、民生費、人件費の増加や物価高騰に対応しつつ実質収支で黒字確保できたことは評価できる。今後は超少子高齢社会、人口減少社会を将来に見据え、歳入、歳出のバランスを検討することが必要。依然厳しい財政状況は続くと思われる。事業を精査し財政健全化に向け対応することが必要。

緑区椎名公民館、移転再整備が前進します！

椎名公民館の再整備について市長に要望活動を行いました。(令和6年8月27日)

現在、椎名公民館は大雨による土砂警戒情報発表時、公民館裏手斜面の危険性から避難所運営ができない状況です。その為、安全な場所へ移転し再整備することや避難所として利用できるよう市長に要望活動を行いました。

地元自治会、関連団体の会長と緑区の自民、公明会派でこの要望を積極的にお願ひしてきました。市長からも移転に前向きな回答を頂きました。

長年、課題として地元から要望が上がっておりましたが、今後は予算化を進め再整備実現に向け会派の議員とともに活動して参ります。



椎名公民館



神谷市長に椎名公民館の再整備について要望を提出

下総橋法面崩壊の対策が前進します。

先日の大雨で被害のあった誉田町164号線の下総橋(辺田町)周辺の法面崩落について法面の復旧方法と規制解除の見通しについて、また今後の安全対策について都市建設決算分科会で質問、対応を求めました。



下総橋法面崩壊の様子

回答 10月中の規制解除と安全を確保できる設計をし、本復旧する。

空き家対策

都市建設委員会の提言が進行中！

増加が懸念される空き家について、千葉市は、発生予防や空き家の利用・活用を促進するため、対策計画を改定した。空き家ガイドブックを利用した啓発や民間との連携検討などの施策を新たに盛り込み、倒壊の危険など周辺の生活環境に影響を与える恐れがある「特定空き家」を2021年度の102件から30年度に15件へと減らす目標値も、改定に合わせて設定した。

空き家対策計画改定

同計画は18年度に25年度までの期間で策定されたが、管理強化を掲げた改正空き家特措法が昨年12月に施行されるなどしたことから、市は改定を実施。市議会の提言も踏まえて内容を充実させ、30年度までの計画とした。

倒壊危険の抑制目標も

改定された計画は「総合的な空き家等対策の推進による安全・安心な住環境の形成」対策を総動員して、空き家を「へらす」「つかう」「なくす」を基本目標とし、必要に応じて空き家の調査を行うとした。具体的策として、おくやみハンドブックの活用や福祉部局との連携、空き地バンクの立ち上げなどを加えた。

千葉市 発生予防や活用促進

千葉日報 令和6年4月23日

詳しくはホームページをご覧ください。

市政に対するご意見をぜひお聞かせください！



政策実行力、地域要望実現力に自信あり。市民の皆様からの声を着実に実行しています。



完了済み 鎌取十字路改良工事



完了済み 赤井交差点改良工事



完了済み 鎌取11号線改良工事



完了済み 土気小入口交差点歩行者だまり改良工事



完了済み 辺田町横断側溝設置工事



完了済み 鎌取駅南口左折レーン設置工事



完了済み 中西町ミラー交換工事

前進しています

- 鎌取駅南口階段シェルター
- 鎌取駅南口駅前広場工事
- 大網街道点字ブロック設置工事(鎌取駅～鎌取十字路)
- 鎌取駅北口駅前広場工事
- 大網街道歩道段差解消(鎌取十字路～赤井交差点 6か所を予定)

千葉市議会議員 松坂 吉則 政務活動事務所

松坂よしのり 検索

千葉市緑区鎌取町230 TEL:043(291)2626 FAX:043(292)2882 Mail:matsuzaka1127@gmail.com

明治大学大学院修了(公共政策学修士)、元自由民主党千葉市議会議員団幹事長、元大学客員講師、議会運営委員会委員長等を多数歴任